株式会社シンシアージュ

# コミュニケーション活性化
# 働く環境向上に効果抜群!

## 街のレストランが社食に

## どこでも社食

どこでも社食が
簡単に分かる動画は
←こちら

# どこでも社食とは?

「近くのレストランを社食のように利用できる」サービス

会社から従業員に対して食費の補助を支給し(例:月に3,000円など)、
その支給された金額を、加盟店舗で自由に使うことが出来きます。

店舗での会計は「どこでも社食アプリ」で簡単決済

## 利用方法

1

予め設定した会社からの
補助額がチャージされます

2

店舗を検索

3

加盟店舗で食事

4

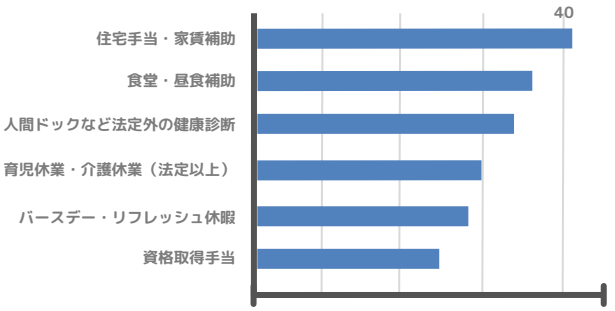
QRコードを読み取り
金額を入力しお支払い
※一般的なスマホ決済と同じ方式

どこでも社食

## メリット

1. 従業員人気が高い「食の福利厚生」を容易に開始できる
2. 好きなお店を利用できるため飽きも来ず、利用率が高い
   ※平均利用率は95%以上!!
3. コミュニケーション活性化や、オフィス出社のインセンティブに効果大
4. 面倒な経費精算も無く、月に一度の請求書へ支払うだけ
5. 食事補助の金額は従業員ごとに自由に設定できるため、予算や目的に応じて柔軟な運用が可能
   ※月に3,000円補助する、または、一回300円で月に10回まで利用可能など

福利厚生の中で食の補助は大人気



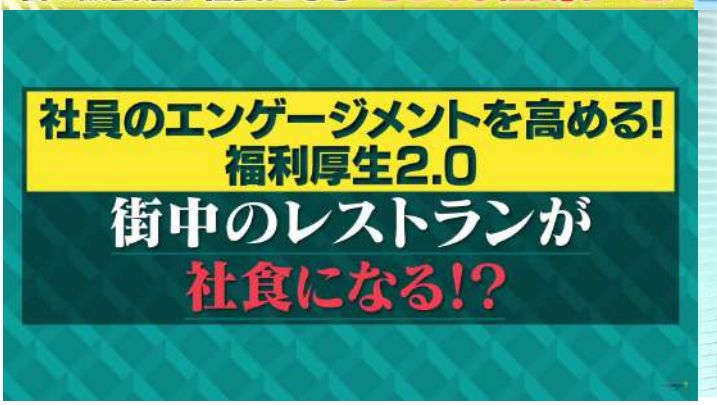

マンパワーグループ株式会社による調査 2015

## 加盟店舗

SHAKE SHACK
いきなりステーキ IKINARI STEAK
DEAN & DELUCA
海鮮処 さくら水産
Hard Rock CAFE
OBICÀ Mozzarella Bar, Pizza e Cucina
Down to Plant healthy sustainable tasty
BARBACOA CHURRASCARIA
ELLE café
ALOHA TABLE Waikiki
表参道焼肉 KINTAN
Eseriba XIRINGUITO BARCELONA '92
鍋ぞう nabezo
TONY ROMA'S
牛カツ 京都勝牛 Gyukatsu Kyoto Katsugyu
RIO GRANDE GRILL
Hills DAL MATTO La Cucina Italiana
表参道 KINTAN
焼肉 青山外苑 AOYAMA GAIEN
37 Steakhouse & Bar
肉源 熟成焼肉 Wet Aging
CHEF & BUTCHER TOKYO
KYOTO HYOTO
GUZMAN

どこでも社食

# メディア出演



フジテレビ　TBS　tv asahi

TV TOKYO　MBS　日経MJ

どこでも社食

事例紹介

## この福利厚生が経営戦略の
## ひとつとして相当な実績をあげています

# 実際にこんな企業が、導入開始1ヶ月で
# 成果を実感する特殊な状況

### 優秀な人材採用が最も
### 難しいエンジニアの採用がすぐにできた

事業拡大を急ぐ中、目下の問題は人手不足。
しかも、今もっとも採用が難しい優秀なエンジニアを
探していました。
会社のビジョンや仕事の内容には共感してくれるけれども、売り手市場であるエンジニアで優秀な人材を確保するのが難しく大変でした。

小僧com株式会社
平松 圭さん

## そこで始めたのが、福利厚生の中でもっとも
## 従業員からの満足度が高いといわれる食事補助の導入

まず始めたのは、採用条件の見直しをしたこと。
ただ、給与の条件を変えることはできない。
また、既存社員との関係も考えないとならない。

社員にとって、働く場所としてもっとも魅力的に感じる条件を作るべきだ。
でも、会社の場所も便利とは言えない。給与の条件も大手には勝てない・・・。

そして、注目したのが福利厚生でした。

優秀なエンジニアの採用に成功した会社の事例を調べてみてわかったのが、食に関する福利厚生だった。
ある程度の高い給与をもらっている若い社員でも、実際の生活で使える現実的な食費は、平均で３万円～５万円であることがわかり、
ここが重要なポイントになると思い、すぐに食に関する社内制度の導入を考えました。

どこでも社食

## 食事補助くらいで効果はあるの?でも、これが証拠です

# 実際は、大手企業と最後まで悩みました。
# でも、現実を考えると!

たんなる食の福利厚生かもしれないけれど、
自分が自由に使える日々のお金が非常に大きくなることが
明らかであったこと! そして、それは家族のためにもなること。

そして、この制度のおかげで、エンジニアでも社員同士のコミュニケーションがとても盛んなので、
さまざまな業務への参加や提案もしやすい環境がある、という話を先輩社員から聞くことができ、
これが、はっきりとした入社の決め手になりました。

ただのエンジニア要員にならない環境であること。
この食事制度は、ぼくにとって思った以上にすごい制度です。

小僧com株式会社
システムエンジニア

工藤 貴明さん

社内には、従業員同士のコミュニケーション活性化を目的とした食の制度がたくさんあります。

まず、同じ部署のメンバー3名以上といくランチ。これが非常に助かります。そもそも全部自腹だとすると少しツラいです（笑）。しかし、このランチこそ、新しいアイディアが生まれる時間で、これがなかったら仕事にならないくらい僕にとって重要です。先日は、ランチの時間に出たアイディアが上司に評価され、すぐ実行！たまらない瞬間でした。

そして、週に１～２度意識しておこなっているのが、異なる部署のメンバーや、役職の異なるメンバーといくランチ。普段、馴染みのない社員同士での会話から団結感が生まれたり、横断プロジェクトに参加できたりと、この会社にいてよかったな！と思える瞬間が生まれる場所でもあります。

先日、僕の部署で、誕生月の従業員がいたので、ケーキを買ってみんなでお祝いしました。
普段とてもがんばっていた社員だったので、チームみんなでお祝いができてとても良かったです。

この会社に来る前の職場では、仲間とたまに飲みに行ったりする程度で、あまり業務時間外でのコミュニケーションを意識することがありませんでしたが、こういった制度により生まれる新しいコミュニケーション環境が、ぼくの社会人生活をぐっと充実させてくれたと思っています。

どこでも社食

# 今、「食の福利厚生」が経営戦略で とても重要なポイントになる理由

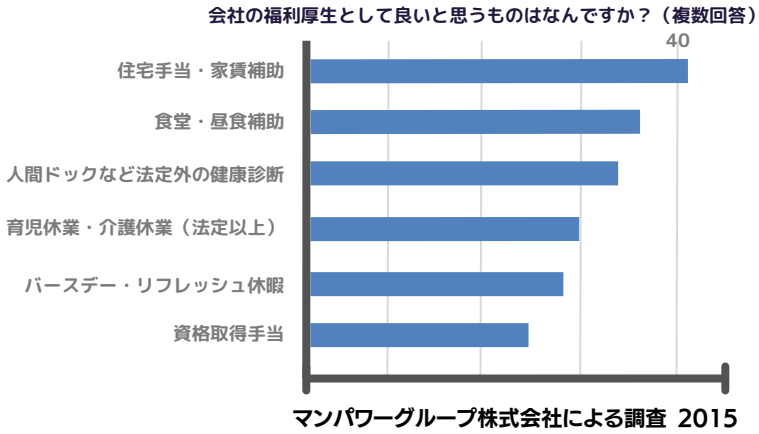
## 理由1　社員が強く望む福利厚生は、「食」の制度

「食の福利厚生」は従業員の要望が非常に強い。

「会社の福利厚生として良いと思うもの」

「実際にあった福利厚生で良かったと思うもの」についてのアンケートでも家賃補助に次いで上位に来ている。

採用率アップが、20%という結果も。
そして、入社後の従業員へアンケート取ったところ、75%の従業員が、食事環境のサポートは入社を決意する一つの要因になったと答えている。



マンパワーグループ株式会社による調査 2015

## 理由2　社内のコミュニケーション活性化に 抜群の効果を発揮!

いつも同じ数名の同僚としかやり取りをしない。

そんな従業員の方は多い。

他の部署のメンバーや、役職を超えたメンバーで月に数回一緒にランチを取る制度を設けることで、ランチ後、自然と社内で挨拶する間柄に。

オフィスですれ違う時に挨拶をする関係になり、その後、部署や役職を超えて質問や相談をできる関係性に近づいていく。

どこでも社食

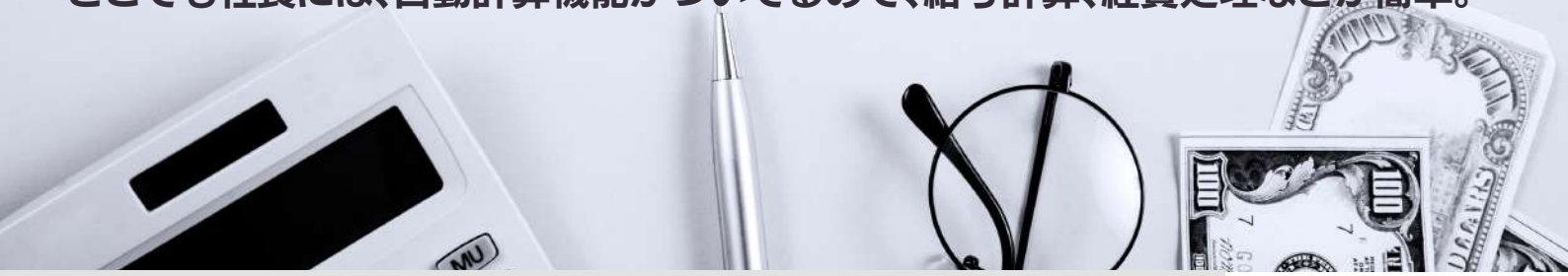
# 理由3　福利厚生費として経費計上が可能に

以下を満たしていれば、福利厚生費として経費計上することが可能に。

（1）役員や従業員が昼食代の50%以上を負担していること

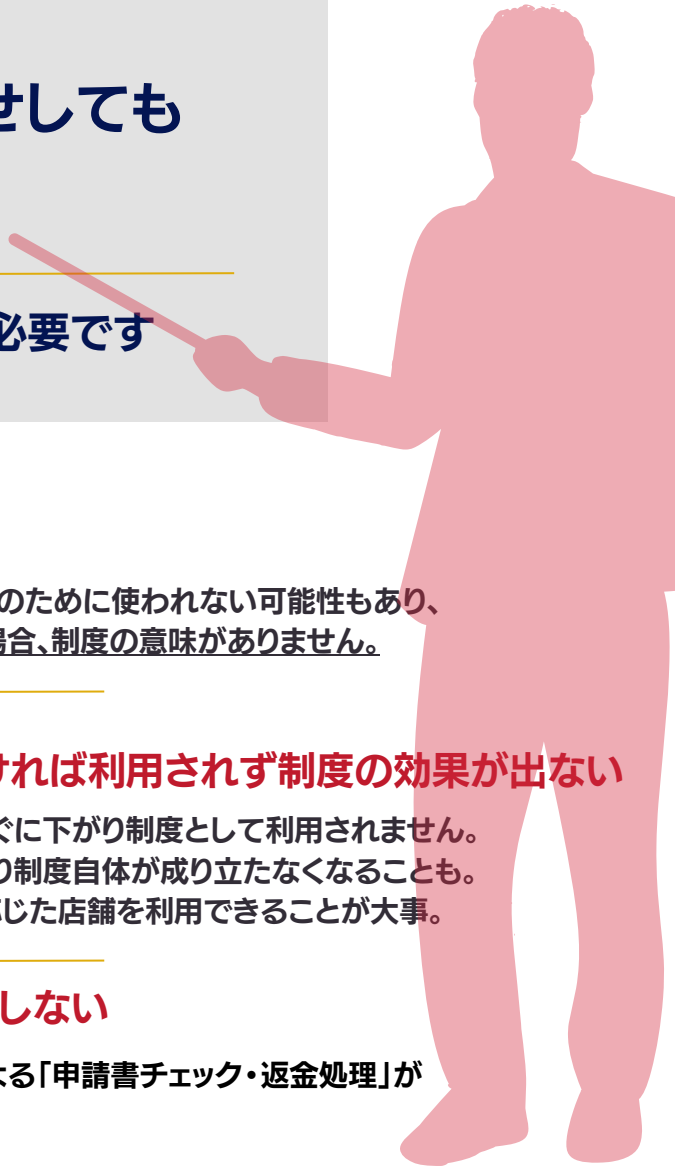
（2）会社の負担額が月3,500円（税抜き）以下であること

**どこでも社食には、自動計算機能がついてるので、給与計算、経費処理などが簡単。**



## 「食事補助」は、ただ給与に上乗せしても全く意味がありません

**実は、この制度、3つ要素を満たすことが必要です**



### 1　給与と一緒に振り込まない

＊給与と一緒に振り込んでしまうと、本来の目的である「食事」のために使われない可能性もあり、制度が成立しません。　会社が意図する形で使われ方でない場合、制度の意味がありません。

### 2　従業員が食べたいと思うお店・メニューがなければ利用されず制度の効果が出ない

＊毎日、同じもの、選択肢が限られている食事だと利用率がすぐに下がり制度として利用されません。
導入当初は盛り上がり利用されていても、徐々に使われなくなり制度自体が成り立たなくなることも。
飽きのこないメニューやお店の選択肢があること、シーンに応じた店舗を利用できることが大事。

### 3　従業員による立替払い方式で食の制度を運用しない

＊各従業員側による「経費申請作業」および、経理担当者側による「申請書チェック・返金処理」が発生し、運用し続ける上での工数が大きい。

**経営を強化する食事補助制度をつくるには、この３つを抑えることがとても重要です**

どこでも社食

# この「食事補助」の制度を導入して
# たくさんの企業がこんな成果を上げています

## 一回あたりの補助を300円で設定しており、会社にとっても大きな負担なく運用できています

従業員に対して、一回あたり300円の補助を出しています。
利用回数は月に10回までとルール設定をしているため、月の合計コストは一人当たり3,000円と会社にとっても大きな負担にはならずに運用できています。
利用率が非常に高く、従業員のみんなから喜びの声をもらっています。

「大手ゲームソフト開発会社」

## 社内のコミュニケーション活性化ランチを業務負担なく運用できています！

以前は、コミュニケーション活性化ランチの費用は、経費精算の方式で従業員に立て替えてもらっていました。 毎月末に従業員が経費申請を行い、経理担当者が一人一人の返金処理を行なっており、かなり手間がかかっていましたが、
どこでも社食を導入することで、一気にその業務から解放され業務効率も飛躍的に向上しました。
従業員も大喜びで従業員満足度も上がっています。

「株式会社メルカリ」

## 好きな店舗で使えるのか心配でしたが、弊社のためだけに個別に提携してくれたので、社員も大喜びです！

元々は加盟していなかった近所のよく行く個人経営の定食屋さんや、お弁当屋さんとも弊社のためだけに個別に提携してくれたので、社員利用率がほぼ100%です。本当に地元のお店が社食になりました。

「小僧com株式会社」

## 弊社のシステムに合った希望通りのカスタマイズができ大変助かりました

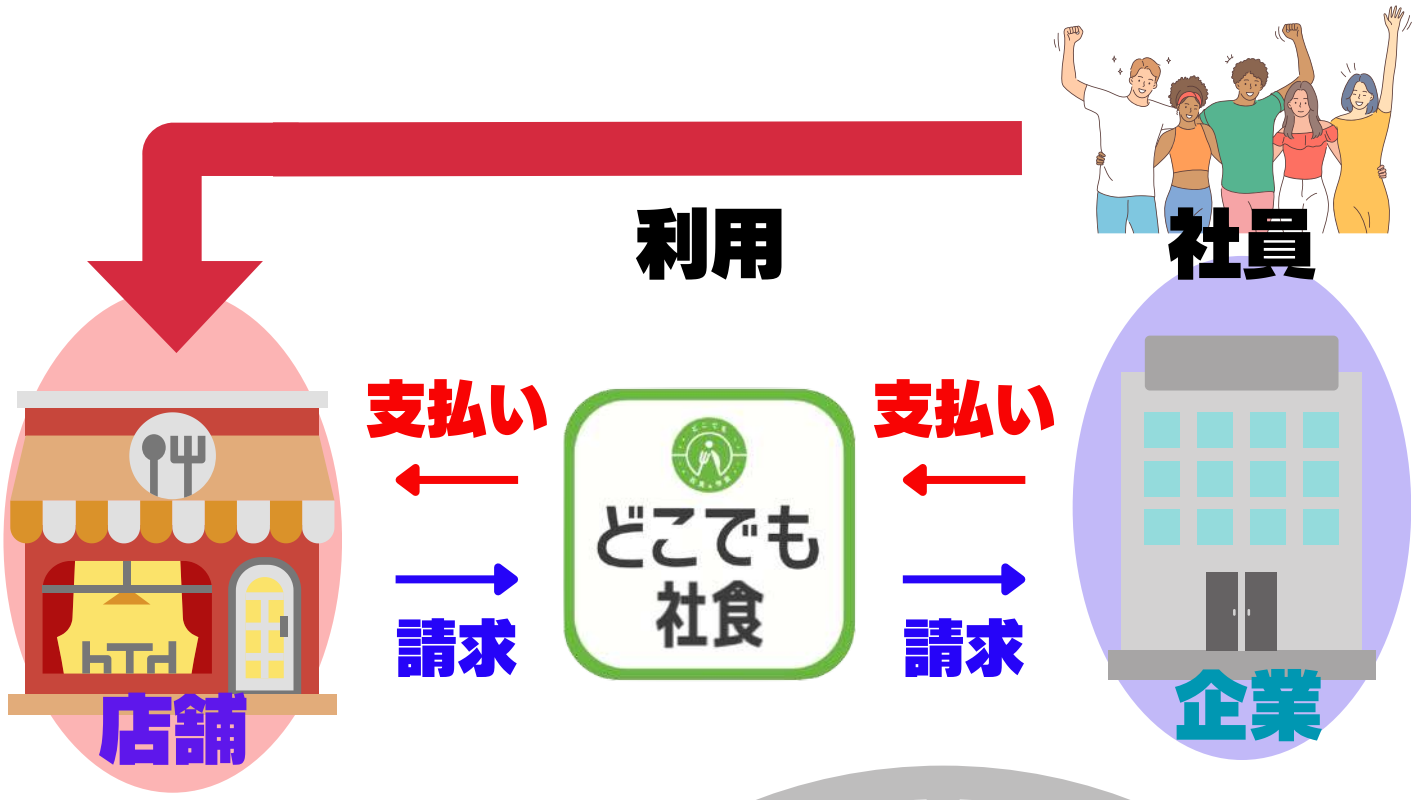
システム面でも、弊社の会計処理方法や、取りたいデータに合わせて個別にカスタマイズもしてくれるので、経理運用がとっても簡単で助かっています。

「大手広告代理店」

どこでも社食

# どこでも社食

## 支払いは月に一度、運用が非常に簡単




## ご利用料金

詳しくはお問い合わせ下さい。

どこでも社食

# zoomでご相談できます

## お問い合わせ方法

以下よりお問い合わせ下さい

### お問い合わせ

お問い合わせフォーム、またはお電話にてお問い合わせください。

お問い合わせフォームはコチラ

### お打ち合わせ

お打ち合わせにてどのような社食環境をご要望かヒアリングいたします。

### 利用開始

システムや、利用店舗など準備が整い次第ご利用開始となります。

その企業に合ったひとつひとつの食事補助制度は、どこでも社食だけ

株式会社シンシアージュ
東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア 15F
https://dokodemo-shashoku.com/

どこでも社食